

2020 年度事業計画書

2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 エスコット

<基本方針>

気候変動対策となる技術分野で持続可能な活動に専念する事を提唱する。

その為、以下の行動指針を導入する。

- 1) SDG s の方針と背景理念を重視する。
- 2) 気候変動対策へのタイムリミットを意識する。
- 3) 平易かつ実施可能な技術（システム）開発を心掛ける。
- 4) 前各項を行う為の収益力向上とコスト削減を徹底する。

1 事業の計画概要

① 運送効率化推進事業:

「空コンテナ過不足予測プラットフォーム」の利用拡大
コンテナ輸送の省エネルギー化・防災・減災機能化セミナー実施
内陸クロスドックの効果と課題のとりまとめ

② 梱包材有効利用推進事業

ブラット・フォーム提供のみを行う。

③ セミナー開催等教育・啓蒙事業

人財交流ランチ・ミーティングを2か月に1回程度の頻度実施

④ 環境機器開発推進事業

※ヒートルパネルと太陽電池のコラボ商品PVTの開発（芝浦工大との共同研究）

ヒートルパネルの熱循環システムへのバイオ熱導入

土中蓄熱による温室栽培での省エネ推進

※防災エコ窓のふるさと納税返礼品化、ソーシャル・ビジネスとしての普及活動実施

※ヘッドルームの利用モニターを増やす。

※海洋へのCO2固定となる風力・波動ポンプのフィールド試験実施

※ヒアリ侵入対策フィールド試験の継続と知見の蓄積

※防災・減災に資する各種実証試験の検証と改善

⑤ コンサルタント事業

防災、働き方改革等の社会課題とリンクした物流拠点のあり方研究ととりまとめ

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出額(千円)
運送効率化推進事業	「空コンテナ過不足予測プラットフォーム」の利用拡大 コンテナ輸送の省エネルギー化・防災・減災機能化セミナー実施 内陸クロスドックの効果と課題のとりまとめ	2020年1月より12月31日	全国	6名	道路近傍、首都圏住民、港湾近傍住民、地域の経済主体、船社、トラック会社等	500
梱包材有効利用推進事業	プラット・フォーム対応	2020年1月より12月31日	国内 海外	3名	梱包材利用者、排出者、廃棄物焼却施設近傍住民等	20
セミナー開催等教育・啓蒙事業	人財交流ランチ・ミーティングを2か月に1回程度の頻度での実施	2020年1月より12月31日	国内 海外	2名	荷主・輸送関連企業、学識者及び学生、一般市民等の不特定多数	500
環境器械研究・開発事業	※ヒートルパネルと太陽電池のコラボ商品PVTの開発(芝浦工大との共同研究) ヒートルパネルの熱循環システムへのバイオ熱導入 土中蓄熱による温室栽培での省エネ推進 ※防災エコ窓のふるさと納税返礼品化、ソーシャル・ビジネスとしての普及活動実施 ※ヘッドルームの利用モニターを増やす。 ※海洋へのCO2固定となる風力・波動ポンプのフィールド試験実施 ※ヒアリ侵入対策フィールド試験の継続と知見の蓄積 ※防災・減災に資する各種実証試験の検証と改善	2020年1月より12月31日	国内 海外	3名	一般市民、企業等、特定せず	1000
リスク管理研究・コンサルタント事業	防災、働き方改革等の社会課題とリンクした物流拠点のあり方研究ととりまとめ	2020年1月より12月31日	国内 海外	1名	荷主企業、輸送関連業者、及び広く不特定多数	100

合計:2,300

(2) 収益事業 実施せず